

# 地域に暮らす皆さまの“かかりつけ薬局”でありたい。それがゆう薬局の想いです。

京都府下  
保険薬局店舗数

**No.1**

※平成28年3月1日付け  
近畿厚生局HP 保険薬局の届出一覧より自社調べ

●は京都市の店舗です  
●は京都市外の店舗です

明日を、つなぐ。

**ゆう薬局**

ゆう薬局グループ本部：〒606-8413 京都市左京区浄土寺下馬場町106

http://www.uno-upd.co.jp/ TEL:075-771-1690



## ＊ 京都のなかで、地域の皆さまのいちばん近くに。 ～地域に根ざしたゆう薬局のあゆみ～

私たち「ゆう薬局」は、京都市左京区での1950年創業以来、京都という地域に根ざした店舗運営を行ってきました。

薬局へ足を運んでくださる方を対象にした業務とそこでのつながりを大切に、お一人おひとりの生活や状態に想いをめぐらせ、それぞれに応じた継続的なケアを行うことにより、健康や暮らしの向上につながるような薬局づくりを心がけています。

地域のニーズに応じた店舗レイアウトや商品選定、地域薬剤師会活動・市町村や行政区単位での医療介護関連施策での連携、在宅医療への参画（10年以上前から継続的に取り組んでいます）、医師と連携した適切な対応、人材育成…これらはすべて、“地域のかかりつけ薬局”をめざす中で取り組んできたことです。

また、地域で開催されるイベントや研修会に参加し、積極的に地域住民の皆さまとコミュニケーションをとり、地域に愛される薬局をめざしてきました。医療、介護施設からの講演依頼や、医師会・薬剤師会との合同健康イベント、福祉祭りや夏祭りなどの行事に参加し、地域の皆さまや多職種の方々からのご要望をお伺いしています。

今後も地元の薬局として生活の中に取り入れていただけるよう、さまざまな企画の取り組みを進めていきます。



## ＊ 京都の地域医療を支えるために、 未来を見据えた取り組みを。

2013年10月、ゆう薬局は京都府医師会、複数の薬学部と連携し、京都府立医科大学に、在宅医療や地域医療についての研究と人材育成を行う寄附講座「在宅チーム医療推進学講座」を開設。医師・看護師・薬剤師をはじめ、在宅医療に関わる多くの多職種の方々にご参加いただき、医学生・薬学生向け教育カリキュラムの運営および在宅・地域医療に係る臨床研究と実践を行っています。

また、他業種とのコラボレーションを積極的に実施。その一例として、ゆう薬局は2012年より、iPadを活用した在宅療養支援に係る情報共有ツールを開発する「電子連絡ノート研究会」に参加し、研究開発と社会実証実験に携わってきました。この研究会は医師、薬剤師、看護師、ケアマネージャー、企業、研究者などが参画しています。さらに、2014年度から独立行政法人科学技術振興機構のCOI事業の支援も受け、活動の拡充を図っています。

## ＊ 地域の“かかりつけ薬局”“健康サポート薬局”を めざしてさらなる充実を。

創業以来、こうした挑戦と変化を続けてこられたのは、社員一人ひとりが地域の方々の立場に立って考え、行動し続けることで、皆さまから信頼と温かいご支援をいただいていたからこそ。そのご支援もあり、現在、4月～7月の間に京都府下で5店舗の新規開局を計画中。地域全体の生活支援と健康づくりをニーズに応じてサポートする次世代型の薬局を想定して取り組んでいます。

私たちはコーポレートスローガン「明日を、つなぐ。」のもと、昔の“町の薬局”のような地域の皆さまとの距離感を大切に、これからの高齢化社会を支える「次世代型薬局モデル」として、京都にふさわしい姿をめざした薬局運営を行っていきます。

